

40歳から学ぶ介護保険

柴本 美佐代

Q 将来、介護が必要になれば、介護保険ですべてまかなくてもいいかと考えて大丈夫でしょうか。

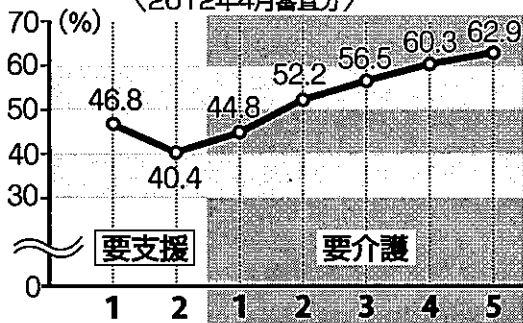
A 介護保険があるので大丈夫と思っている人がいますが、介護保険は必要なだけ無制限に使えるものではないので、一概にそうとも言えません。

例えば、家族が仕事に出ていて日中は独りになるからといって、一日中ヘルパーに来てもらうわけにも、毎日デイサービスに通えるわけでもな

Question 3 すべてのサービスまかなえる？

居宅サービス受給者の平均利用率

(2012年4月審査分)



[注]平均利用率(%)=平均給付単位数/支給限度基準額×100
(厚生労働省2011年度介護給付費実態調査の概況より)

いのが介護保険です。自宅介護する(在宅介護)場合、1カ月に使える金額の上限があります。要介護度(要支援1・2、要介護1~5)によって限度額が決められ、1回の時間やサービス内容も制限されています。

しかも介護は日中だけとは限りません。夜間使えるサービスは少なく、家族が行うことになりがちです。介護のために仕事を辞めたり、職場を替わる人が多いのはこのためです。

入院のように短期間、特別養護老人ホームなどに入所して介護してもらうことができますが、これも期間の限度があります。経済的負担によって自ら使うサービスを減らすことも多く、平均利用率を見ても限度額まで使われていないという結果が出ています。多くは家族が介護の大部分を担っているのです。

介護する人がいない場合、介護度が重くなると特養ホームなどに入所

程度や時間で制限、他の制度で補って

することにありますが、施設の数が足りないのが現状です。

介護が必要になったら、どうすればいいでしょうか。介護保険だけでなく、医療やその他の制度によるサービスを使う組み合わせることがポイントです。また、近所さんやボランティアの力を活用することで、家族の負担を軽くし、独りでも自宅で暮らす続けることができます。

介護保険では所得によって利用者負担額(食費居住費)の軽減や、自己負担額の上限を超えた利用料の払い戻し、税制では介護サービスでも医療費控除の対象となる費用がありますので、経済的な負担への対策も知っておきましょう。老後の安心は幅広い介護の知識から。(日本エルダーライフ協会代表理事)